

イベント開催報告

7月30日（水）に2025年度第1回FD教員セミナー「学生が選ぶベストティーチャーによる授業運営の工夫 vol.5」をオンラインにて開催しました。本セミナーは2021年度より毎年好評をいただいている「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞教員による講演の第5弾で、今回は法学部の金子匡良教授、グローバル教養学部の新谷優教授に授業運営の工夫についてご講演いただきました。本テーマでは過去最多の先生方にご参加いただき、質疑応答も含め大変貴重な機会となりました。

< 申込者数：190名 参加者数：127名 >

学生が選ぶベストティーチャーによる授業運営の工夫

◆金子匡良（法学部教授）

「『わかりやすい授業』の葛藤」

- ・担当授業の特性：特に「憲法」は法学初修の1年生が多い大規模授業。
- ・わかりやすさの工夫：講義の初めに前週までの復習を行う・専門用語を平易な言葉に置き換える・例え話をする・図表やイラストでイメージ化
- ・例え話やイメージを多用したことで、試験で論述できない学生もいた。
- ・そもそも学問はわかりやすくはない。大学で学ぶ真髄は、学問の深淵さを知ることであると思うが、「わかりやすい授業」を追求することは学生への迎合に過ぎないのではないか、わかりやすさと学問の奥深さは両立可能か、葛藤を抱えている。

◆新谷優（グローバル教養学部教授）

「参加型の授業の作り方」

- ・担当授業の特性：すべて英語による授業で、受講者は最大でも36名。
- ・学生に印象を残し学習定着率を高めるために参加型の授業を実施。
- ・学生との距離を縮める工夫：学生の名前を覚える(事前説明のうえ写真撮影)・教卓を教室の隅に移動させる・教室内を練り歩く
- ・学生同士の距離を縮める工夫：不完全なハンドアウトにする・小グループでの作業を取り入れる・メンバーを混ぜる・電子機器はNGとする
- ・参加を促す工夫：導入の簡単な質問でジェスチャーさせ、参加している気にさせる・15-20分ごとに異なる取り組み（講義・ワークシート・ディスカッション・動画視聴・クイズ・グループワーク…）を入れる
- ・発言することがプレッシャーにならないようにする工夫：事前に回答をチェックしてから当てる・全員順番にあてる・回答は肯定する
- ・ディスカッションを盛り上げる工夫：事前に質問と回答及びクラスメートの質問に対する回答を提出させる・教員は極力喋らず我慢する

主催：教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

2025年度第1回FD教員セミナー

FD

学生が選ぶベストティーチャーによる
授業運営の工夫 vol.5

毎年好評の「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞教員による講演の第5弾です。
実際に授業を受けている学生から多くの支持を受けた授業運営の工夫を紹介します。
セミナー内では質疑応答の時間も設けますので、奮ってご参加ください。

日時 7月30日（水）18:00～19:30

開催方法 Zoomによるオンライン開催
※録画による後日配信は行いません

対象 本学教員（専任教員・兼任講師）
・博士後期課程学生

定員 なし

講演者（2024年度受賞）

「『わかりやすい授業』の葛藤」

金子 匡良

法学部教授

【主な担当科目】

「憲法Ⅰ・Ⅱ」（法学部法律学科）

「憲法と政治Ⅰ・Ⅱ」（法学部政治学科）

「法学（日本国憲法）」（ILAC）

【専門分野・研究テーマ】

憲法、人権法、人権政策

「参加型の授業の作り方」

新谷 優

グローバル教養学部教授

【主な担当科目】

Introduction to Psychology, Social Psychology, Quantitative Research Methods, Advanced Topics in Social Psychology, Cultural Psychology, Self and Culture Seminar

【専門分野・研究テーマ】

社会心理学、文化心理学
(思いやり・援助・自尊心・甘えなどの研究)

参加申込方法

右記のQRコード、またはURLにアクセスし、指定の申込フォームにてお申込みください。

URL <https://short.hosei.ac.jp/FD>

※ログインの際に使用するメールアドレスは、ご自身の法政大学のメールアドレス(@hosei.ac.jp)をご入力ください。
※個人情報厳重に管理し、本イベント以外の目的で使用いたしません。

申込締切 7月28日（月）17:00

法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター
TEL: 03-3264-4268 E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp

法政大学
HOSEI UNIVERSITY

参加者アンケートより

- ◆ 授業に取り入れたいと思う内容がたくさんありました。また、お二人の先生の柔らかくテンポの良い話し方も大変聞きやすく、それ自体がとても参考になりました。大変有意義なセミナーでした。
- ◆ 少人数で学生を飽きさせないためにはどうしたらよいかについて、大きなヒントをいただけたので、今日は参加してよかったです。復習や図式を取り入れる点についても非常に勉強になりました。
- ◆ 担当している授業が語学であるため応用できる部分はあまり多くはないかもしれないと思いながらの参加でしたが、自分の授業にも活かせるような点も多く大変参考になりました。
- ◆ 授業のやり方は常に悩んでおりますので、他の先生方のお話を拝聴することができてよかったです。授業の工夫をお伺いできたことはもちろんですが、学生の私語やモチベーションに悩んでいるのは私だけではないと気づくことができたのは大きかったです。
- ◆ お二人の先生方のご講演は大変勉強になりました。とくに、金子先生の「わかりやすさ」と「学問の奥深さ」の両立は可能かというご指摘は、非常に重要なもので考えさせられました。
- ◆ どちらの先生のお話からも、教室の中で、授業が学生にとってどのように経験されているかを想像しながら教育を行うことの重要性が感じられた。長年の教育経験を経ても、さまざまな葛藤の中で試行錯誤を続けておられることがよくわかり、授業改善に終わりがいいことを改めて実感できる貴重な機会だった。
- ◆ とても興味深いプレゼンでした。印象に残った点として、金子先生の「学問の奥深さ」と「わかりやすさ」の両立が可能であるかという疑問がありました。先生のお言葉通り「そもそも学問は分かりやすくない」ものではありませんが、私は学問を「わかりやすく説明する」はその複雑さや奥深さを否定するものではなく、学問を極める者こそが、（特に日本語において）説明は一般化しSimplifyする必要に迫らせている、それができることが重要だと理解しています。学問の奥深さは教授する者の「わかりやすさ」を追求するという工夫があって初めて、その学問の初心者を導けるのではないかと思います。

